



2021年12月24日

各 位

会社名 イメージ情報開発株式会社
代表者名 代表取締役 代永拓史
(コード番号 3803)
問合せ先 経営企画室長 井上康太
(TEL 03-5217-7811)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、グロース市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式時価総額および時価総額については基準を充たしておりません。

	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)	時価総額 (億円)
当社の状況	8,283	4.69	39.8	11.78
上場維持基準	1,000	5	25	40
計画書に記載の項目		○	(※)	○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況を元に算出したものです。

(※) なお、当社取締役の親族の保有する株式を非流通株式として算出した場合、流通株式比率は約22%であると推定していることから、合わせて計画を作成しております。

当社は、上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。適合時期につきましては、2024年3月期までの中期経営計画を着実に達成したうえで、次の中期経営計画期間中（2025年3月期から2027年3月期）の適合を目指します。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容（基本方針）

流通株式時価総額および時価総額の上場維持基準の適合に向けた課題に重点的に取り組み、企業価値の向上を図ることを基本方針とします。

（課題）

業績の向上と当社株式の流動性の改善

(取組内容)

1. 業績の向上につきましては、当社は、本日開示しておりますの「事業計画及び成長可能性に関する事項」におきまして、以下の6つの主要施策を掲げております。具体的な中期経営計画の内容については「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照ください。

- ① 収益が悪化している事業の見直し
- ② 積極的な事業投資
- ③ ITソリューション分野における提携関係の強化
- ④ 事業推進管理の強化による営業黒字の継続、拡大
- ⑤ 継続的な事業拡大に向けたビジネスモデルの整備
- ⑥ 成長加速のための資金調達およびM&Aを含めた他社との提携

また、これらの施策の結果として、以下の業績目標を掲げております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2021年3月期 (実績)	684	13	21	144
2022年3月期 (予想)	843	14	15	34
2023年3月期 (目標)	1,000	70	70	70
2024年3月期 (目標)	1,200	120	120	100

2. 流動性の改善につきましては、IR活動の活性化を進めるとともに、増資や株式分割等による株式数の増加、既存株主からの株式売出し等による流通株式比率の増加を推進してまいります。流通株式比率につきましては、現在の22% (推定) を2023年3月末日までに25%以上にすることを目標としております。

以上